



・発行日
49・10・1
・発行
岡崎市AVL
・編集
広報委員会

一九七四年視聴覚教育賞論文
ライブラリー部門で入選第一位

毎年視聴覚教育全国合同大会を機に募集される視聴覚教育賞論文は、学校教育部門、社会教育部門、ライブラリー部門、産業教育部門の四部門別に審査され、全国大会席上で表彰されます。

岡崎市視聴覚ライブラリーでは、中村指導員を中心にして、視聴覚主任の力でその実践を、「視聴覚教育を育てる、能動的なライブラリーの運営」というテーマにまとめ、県教委の推薦を受けて論文募集に応募しました。

論文は、岡崎市視聴覚ライブラリーの概要、ライブラリーの運営組織、研修会、VTR公費設置による放送利用、費用節減に対応する広報活動、視聴覚サークルの活動、自作教材コンクール入選、社会教育における視聴覚教育の振興等公立化以後一年半の実践とその考え方をまとめたものです。

表彰は十一月二八日におこなわれます。

教研岡崎集会での成果

本年度より視聴覚教育部も、第二三分科会として教研集会に参加しました。

分科会テーマは「視聴覚教材、機材の特性を生かして授業の質を高めるにはどうしたらよいか」助言者には、三島小学校長阿部俊房先生、竜海中学校長滝口忠男先生、常磐小学校長稲垣茂先生、教科指導員中村巽先生、外来助言者として幸田小学校長大津準一先生、愛教組指導員橋本先 という立派な先生方のご出席をいただき、充実した研究討議ができました。

提案には、放送教育実践、テレビの視聴能力の育成（三島小学校小出明先生。）OHPの活用（六ツ美中学校大山雅夫先生、羽根小学校岡田宏先生）。VTR自作の活用（美合小学校岡田金二先生）でした。

中心話題は、VTRの活用にもなうテレビ利用のあり方。利用度の高いOHPの生かし方。VTRの活用と自作教材の作製へのシステム化でした。最後に、県教研への代表として、三島小学校小出明先生を選んで終了しました。

牧野

四九年度購入フィルムが入荷

昭和四九年度十六ミリ教材映画購入のため、夏休み中に視覚教育研究員の先生方を中心にフィルム選定をしていただきました。その結果次の教材百五十万円分が購入できました。

◎ 社会科

B 四二二 産業の発達と公害

B 四二三 いまの裁判 むかしの裁判

◎ 理科

B 四一六 川原のようすと水の流れ

B 四一七 うさぎの観察

◎ 図工

C 六四 やきものをつくろう

◎ 体育

B 四一九 小学生の陸上運動

A 二一七 水泳シリーズ クロール

A 二一八 水泳シリーズ 平泳ぎ

◎ 技術・家庭科

B 四二一 ダイオードとトランジスタ

B 四一八 訪問のしかた、応接のしかた

B 四二〇 住空間の働き

◎ 特活、道徳

B 四一五 学級会のすすめ方

C 六五 責任を持つということ

◎ 社会教育

B 五〇 家庭とは何か

B 五一 竹とんぼ

C 二八 すばらしい松おじさん

この教材の紙要は、教材目録の追録として送付してありますから参照してください。

サークル「写真同好会」発足

視覚関係の第二のサークルとして、小学校教職員写真同好会が誕生しました。

この会は毎月第四土曜日午後二時から、婦人会館を会場に例会形式で開かれます。

講師として、二科会・日本写真家協会会員の宅間喬夫先生で、毎回テーマを決めて写真の基礎を学習します。年間会費千円でいつでも入会できます。

次回は十月十九日（土）婦人会館

ライブラリー便り

八月、九月の二カ月十六ミリ教材フィルム

を洗いながら点検してあります。なかに切れたま、返却されていたものがありました。

フィルムが切れたときは、メモをケースの

帯にはさんでおいてください。

四九年度上半期の教材・機材目録の貸出件数がまとまりましたので、近日中に届けます。